タブレット Acecat Flair
取扱説明書

品番:TBL-54DOSV

最初にご確認ください。

セット内容

- ●タブレット本体 …… 1台
- ●スタイラスペン …… 1本
- ●交換用ペンチップ …… 2本
- ●ペンスタンド …… 1個
- ●キーボードアダプタ(ミニDIN6pinメス・DIN5pinオス) … 1個
- ●ドライバソフト (CD-ROM) …… 1枚
- ●乾電池 (AAAAタイプ) …… 1本
- ●取扱説明書 兼 保証書 (本書) …… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

警　告

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試し下さい。

●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみて下さい。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設置し直して下さい。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続して下さい。

本製品に対しACE CAD Enterprise Co., Ltd.社が許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意下さい。

ACECAD、ACECATはACE CAD Enterprise Co., Ltd.の登録商標です。

文中の各社の社名、製品名等はそれぞれ各社の商標又は登録商標です。

本書に記載の他社商品名は参考を目的としたものであり、他社商品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。

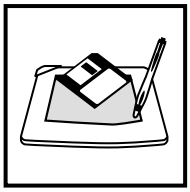
※本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。
●本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
●本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
●本書の内容については予告無しに変更することがございます。
●本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンは実際のものと異なることがあります。

目　次

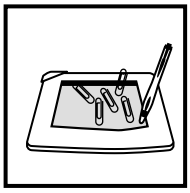
ページ	
3	取り扱い上のご注意
5	はじめに
5	タブレットについて
6	接続するポートについて
6	動作環境
7	ハードウェアのセットアップ
8	ドライバのインストール
8	・Windows 95/98/NT 4.0へのインストール
10	・Windows 3.x/NT 3.xへのインストール
11	タブレットの設定（Windows 95/98/NT 4.0）
16	タブレットの設定（Windows 3.x/NT 3.x）
19	ドライバソフトの削除
19	ペンのメンテナンス
20	付属ソフトウェアについて
21	トラブルシューティング
22	仕様

⚠取り扱い上のご注意

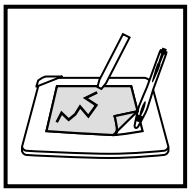
●タブレットの上に熱いもの、または重いものを置かないでください。



●タブレットの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。
フロッピーディスク内部のデータが消えるおそれがあります。



●タブレットの上に金属など導電性のあるものを置かないでください。



●タブレットの透明シートを傷つけないでください。

●タブレット本体を絶対水に浸けないでください。

●タブレット本体を絶対落とさないようにしてください。

● 本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一、煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
● 雷が鳴っているときに、本製品やケーブルに触れないでください。
▲落雷により感電する恐れがあります。
● 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
▲故障や感電の原因となることがあります。
● 濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
▲本製品がパソコンに接続されているときには、感電する恐れがあります。
● 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
● 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
● 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。
▲故障・感電などの原因となることがあります。
● 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
● 本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。
▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
● 本製品のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
● 本製品のケーブル、接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。また、これらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
● 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はしかねます。
▲定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
● 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
▲塗装を傷めたり、故障の原因となることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
● 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

はじめに

普通のマウスでは、フリーハンドでの絵が書きにくい。画面上でカーソルを探しながらの作業は面倒だ。…そう思ったことはありませんか。このタブレットとスタイラスペンがあれば、カーソルの位置を確認せずに、フリーハンドのスケッチやサイン、さらに写真や絵のトレースまでもが簡単に行えます。つまりこのタブレットは、マウスよりもさらに高度な機能を持ったポインティングデバイスなのです。

ペン先は512段階の筆圧感度調整が可能で、自然な書きごこちです。タブレットの上面から約6mmの高さまでの間で、フリーハンドで絵を書くことができ、透明な“ オーバーレイシート ”を使って下絵のトレースも可能です。スタイラスペンに付いている3つのボタンは、それぞれに異なったマウスボタンの機能を設定することができます。さらに、このタブレットと同時に、マウスやトラックボールを使うこともできます。

Windowsアプリケーションには、この筆圧検知に対応しているグラフィックソフトのドローイングツールはたくさんあります。これらのツールを使ってペンの圧力を自在に使い分けることで、線の太さや濃さを変える、色をブレンドすることなども簡単にできるのです。

タブレットについて

●ポインティングデバイス※1

このタブレットには、ポインティングデバイスとしてスタイラスペンが付属しています。

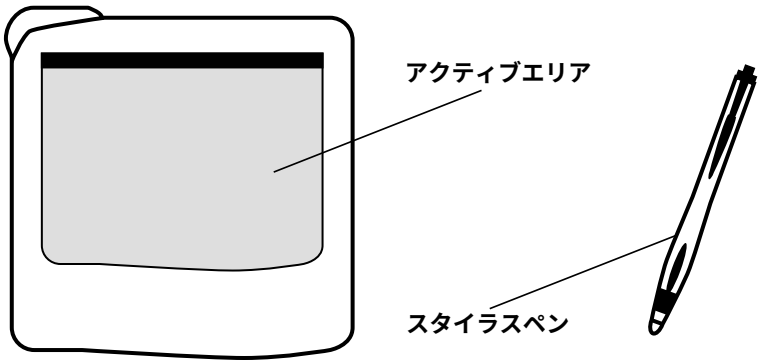
●3ボタン方式スタイラスペン

このスタイラスペンはとても軽く、普段から使い慣れているペンや鉛筆と同じような感覚でご使用になれます。軽くペン先を押すだけで入力できますので、自由に字や絵を描くことが可能です。さらに、ペンにはクリックやダブルクリックなどの働きをするためのボタンが3つ付いており、これらの設定も任意に変更することができます。

●

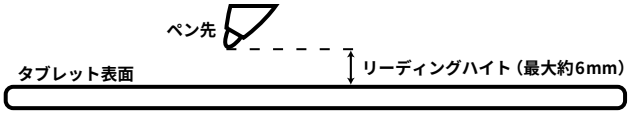
アクティブエリア（読み取り可能範囲）

アクティブエリアとは、スタイラスペンがタブレット上で反応する範囲で、透明オーバーレイシートのある長方



●リーディングハイト（読み取り可能高）

リーディングハイトとは、タブレット表面とペン先の最長距離のことを指します。スタイラスペンならば6mmまで有効です。直接タブレット画面に触れなくれても良いので、地図やイラストなどをトレースできます。非導電性のものであれば何でもタブレット表面にのせることが可能ですが、タブレットとペンの間に導電体をのせると、タブレットが使用不可能になることがあります。

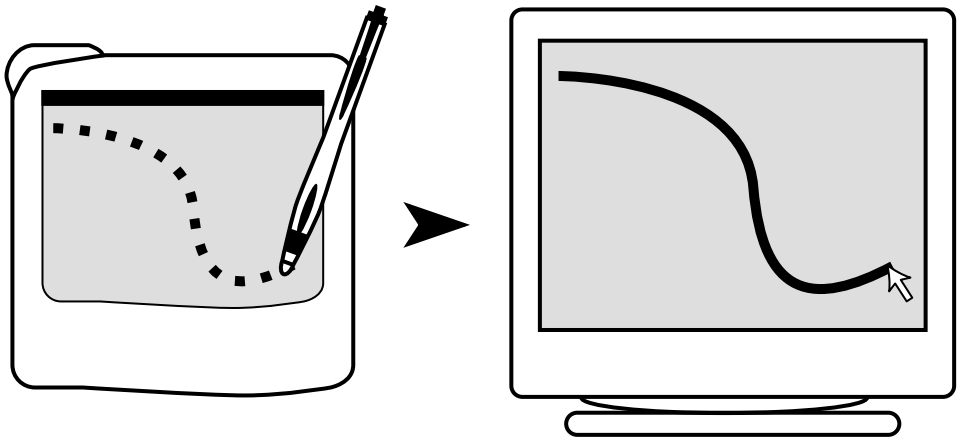


注意：金属など、導電性のものをのせないでください。正常に入力できなかったり、故障の原因になったりしま

●トラッキングモード（動作モード）
タブレット上でペンを動かしたとき、それに対応して画面上のカーソル※2が動きますが、その動作モードは、絶対モードと相対モードの2種類があります。

【絶対モード】
タブレット上のペンの位置と画面上のカーソルの位置が一致します。例えば、ペンを左上に置くと、画面上のカーソルも同じく左上に現れます。これにより、画面上のカーソルの位置を確かめる手間が省け、効率よく作業を行えます。

【相対モード】
通常のマウスやトラックボールと同じように動作します。



【絶対モードの例】

※1 ポインティングデバイス
画面上の座標位置を入力するためのハードウェア。マウス、トラックボール、ライトペンなど。

※2 カーソル
マウスの位置や状態を画面上に表示するマーク。矢印の形が多く、矢の先端がクリックしたときの位置になる。処理に時間がかかるときは、砂時計マークに変化

接続するポートについて

●シリアルポート（D-sub9pin）
空きシリアルポート（非同期シリアルポート）が必要です。これはI/Oカードか、そのコンピュータの説明書で確かめてください。

●キーボードポート（ミニDIN6pin または DIN5pin）
タブレットに電源を供給するために使用します。ポートの形状によっては、付属のアダプタを使用してください。

動作環境

●各社DOS/Vパソコン、NEC PC-98NXシリーズ
※ただしD-sub9pinシリアルポート及びキーボード用ポート（ミニDIN6pin または DIN5pin）を持つ機種。
※ドライバのインストール用に、CD-ROMドライブが必要です。

●OS：日本語 Microsoft® Windows® 3.x/95/98/NT 3.x/NT 4.0

ハードウェアのセットアップ

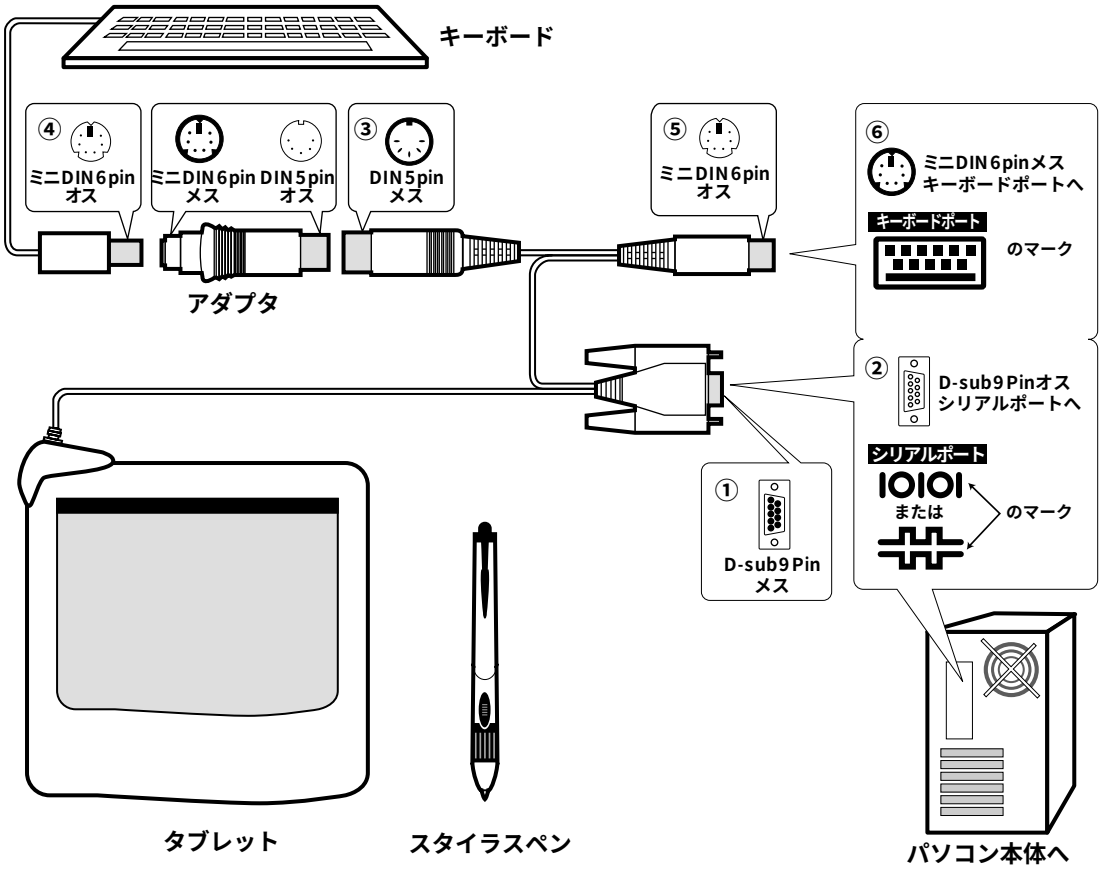
❶ ケーブルの接続

1. まず、コンピュータ本体の電源を切ってください。※電源をつけたままで接続を行うとコンピュータ本体と周辺機器に故障を生じる恐れがあります。

2. タブレットのケーブル（D-sub9pinメスコネクタ①）を、コンピュータの空いているシリアルポート（②）に接続してください。

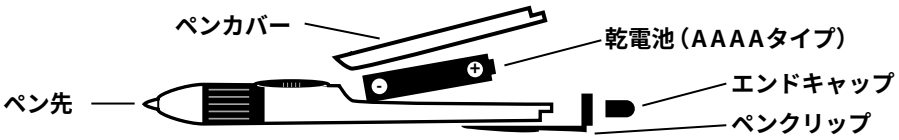
3. 現在、本体に接続しているキーボードコネクタを外し、タブレットのケーブル（DIN5pinメスコネクタ③）に接続します。※このとき、キーボードのケーブルがミニDIN6pin（④）の場合は、付属のアダプタ（ミニDIN6pinオス－DIN5pinオス）をご使用ください。

4. 残ったタブレット側のキーボードコネクタ（ミニDIN6pinオス⑤）を、本体のキーボードポート（⑥）に接続してください。



❷ ペンの準備

1. エンドキャップを回して緩め、エンドキャップとペンクリップを取り外してください。
2. ペンカバーをスライドさせて取り外し、乾電池のマイナス側⊖をペン先に向けて差し込みます。
3. ペンカバー、ペンクリップを元に戻し、エンドキャップを締めて固定させてください。



ドライバのインストール

ハードウェアのセットアップが終わったら、コンピュータの電源を入れてください。コンピュータの起動と同時にタブレットにも電気が供給され、タブレットのLEDが点灯します。

●Windows 95/98/NT 4.0へのインストール

1. Windowsが起動すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し、やがて以下の画面になります。[次へ]をクリックしてください。

2. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックマークが付いていることを確認して、[次へ」をクリックしてください。

3. 付属のCD-ROMを入れ、CD-ROMドライブにチェックマークを付けてから、[次へ]をクリックしてください。

4. 正しいドライバ（AceCAD Flair Tablet）が検索されていることを確認して、[次へ]をクリックしてくださ

5. [完了]をクリックすると、インストールが終了します。

6. コンピュータを再起動すると、タブレットが使えるようになります。

プラグ＆プレイがうまく作動しない場合

- [スタート]ボタンを押し、「ファイル名を指定して実行（R）」を選んでください。
- ファイルの名前「R:\WINSETUP.EXE（RがCD-ROMドライブの場合）」と入力し、[OK]をクリックしてください。
- 画面の指示に従ってインストールプログラムを実行し、プログラムが終了したらコンピュータを再起動させてください。

※ インストール途中に、接続したシリアルポートの番号がCOM1かCOM2かを選択する必要がありますので、インストールの前に確認しておいてください。

注意：Windows NT4.0では、ログイン過程が終了する前、もしくはシャットダウン過程を開始した後は、タブレットは動作しません。ログイン過程が修了すると、使用可能になります。

●Windows 3.x/NT3.xへのインストール

1. 「プログラムマネージャ」のウィンドウで「ファイル」をクリックし、ファイルメニューを開いてください。

2. ファイルの名前「R:\WINSETUP.EXE（RがCD-ROMドライブの場合）」と入力し、[OK]をクリックしてください。

3. 画面の指示に従ってインストールプログラムを実行し、プログラムが終了したらコンピュータを再起動させてください。

注意：ペンはバッテリーで作動しています。3分間以上、ペン先でのクリックが行われない場合、ペンはバッテリー節約のために電源を切りますので、カーソルをコントロールできなくなります（アクティブエリア内で電源がオフになっている場合、タブレットのLEDインジケータは赤く点灯します）。ペンを再度オンにするには、ペン先をどこかで素早くクリックしてください。カーソルをコントロールできるようになります（タブレットのLEDインジケータは緑色に点灯します）。

タブレットの設定（Windows 3.x/95/98）

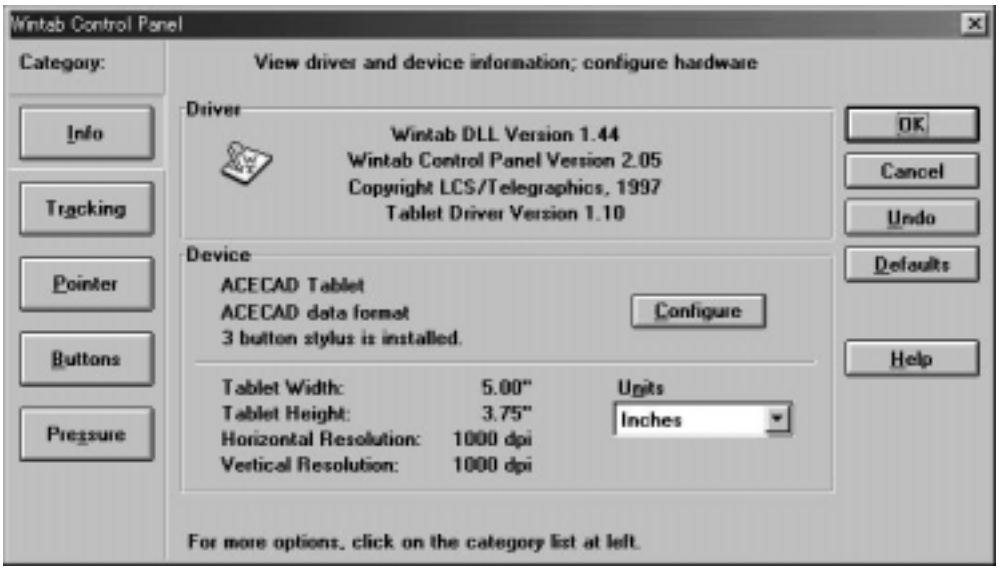
※Windows NTでの設定については15ページをご覧ください。

「タブレットコントロールパネル（ACECAD Tablet）」により、設定を自由に変えることができます。アクティブエリアやペンの設定などが行えます。

コントロールパネルの「ACECAD Tablet」アイコンをクリックしてください。「Wintab Control Panel」ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスの左側で5つのカテゴリ（「Info」・「Tracking」・「Pointer」・「Buttons」・「Pressure」）を選択し、右側でそれぞれの詳細設定を行います。

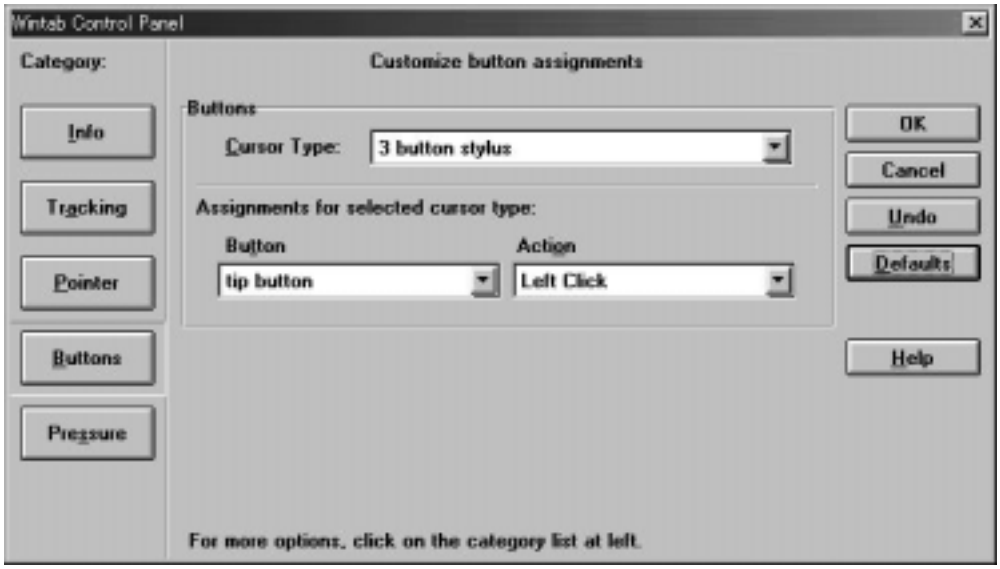
Info ドライバの情報と現在のデバイスを表示しています。



- [Configure]ボタンで、使用するスタイラスペンの選択ができますが、本製品では必ず「3 button stylus」を選択してください。

- [Units]のプルダウンメニューでは、ダイアログボックスでの単位表示を「インチ」と「センチメートル」から選択することができます。※この設定は他のカテゴリにも連動しています。

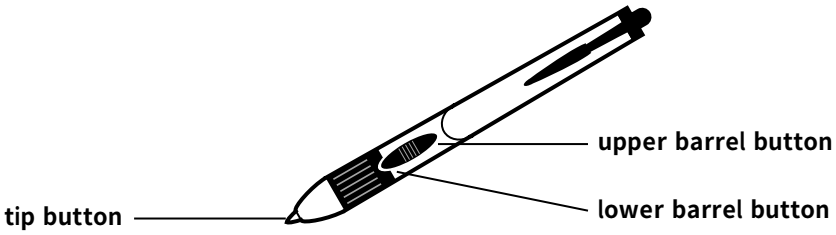
Buttons スタイラスペンの、ボタン機能の設定が行えます。



● カーソルタイプ（Cursor Type）
本製品では必ず「3 button stylus」を選択してください。

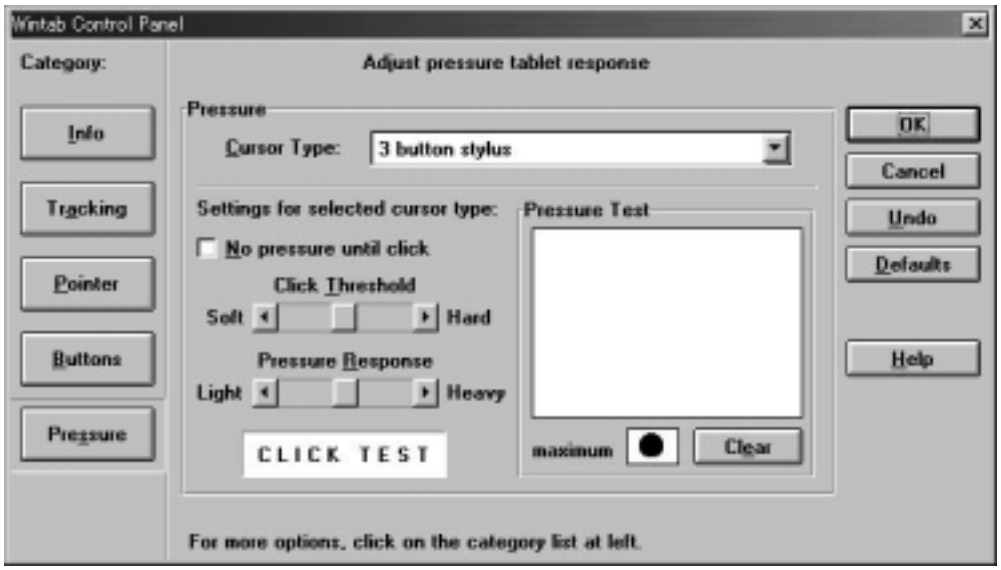
● ボタン・動作（Button・Action）
スタイラスペンにある各ボタンの動作設定は以下のようになっています（初期設定値）。

Button	Action
tip button（ペン先）	Left Click（マウスの左クリック）
lower barrel button（下部丸ボタン）	Right Click（マウスの右クリック）
upper barrel button（上部丸ボタン）	Left Double Click（マウスの左ダブルクリック）



ドロップダウンリストから、Buttons（ボタン）とAction（動作）をそれぞれ選択し、各ボタンに対応するマウスボタン機能を変更することができます。

Pressure 筆圧設定。ペン先（tip button）のクリック感度や描画時の圧力を調整することができます。



● カーソルタイプ（Cusor Type）
本製品では必ず「3 button stylus」を選択してください。

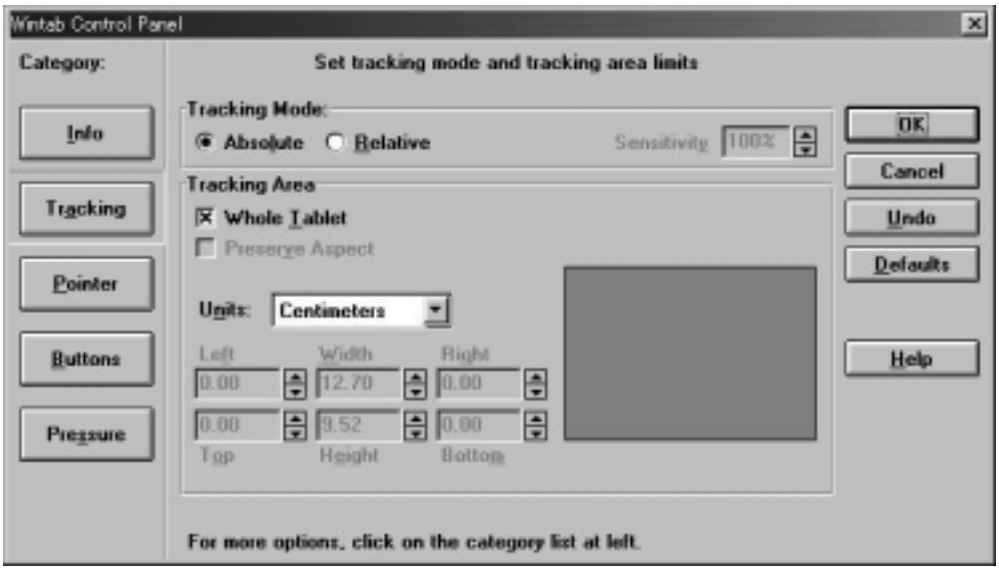
● クリック反応臨界点（Click Threshold）
どのぐらいの筆圧でクリックとして認識させるか、という臨界点を設定します。ソフト（Soft）にスライドさせると、軽い筆圧で反応します。反応が敏感すぎる場合、ハード（Hard）側にスライドさせてみてください。

● 筆圧感度（Pressure Response）
描画中の筆圧感度を設定します。線幅や塗りの透明度などを左右する部分です。筆圧に敏感な描画をする場合、ヘビー（Heavy）側にスライドさせてください。太い線や、濃い色を描くことができます。

● 「CLICK TEST」や「Pressure Test」エリアで、設定結果を確認することができます。

● 簡単な図を描く際には、筆圧感度（Pressure Responce）を高くしてお使いください。ただし、アプリケーションの中には、ソフトクリックではペンの反応が敏感すぎることがあります。その場合、クリック反応臨界点（Click Threshold）をハード（Hard）にしてみてください。

Tracking カーソル動作モードや動作範囲の設定をします。

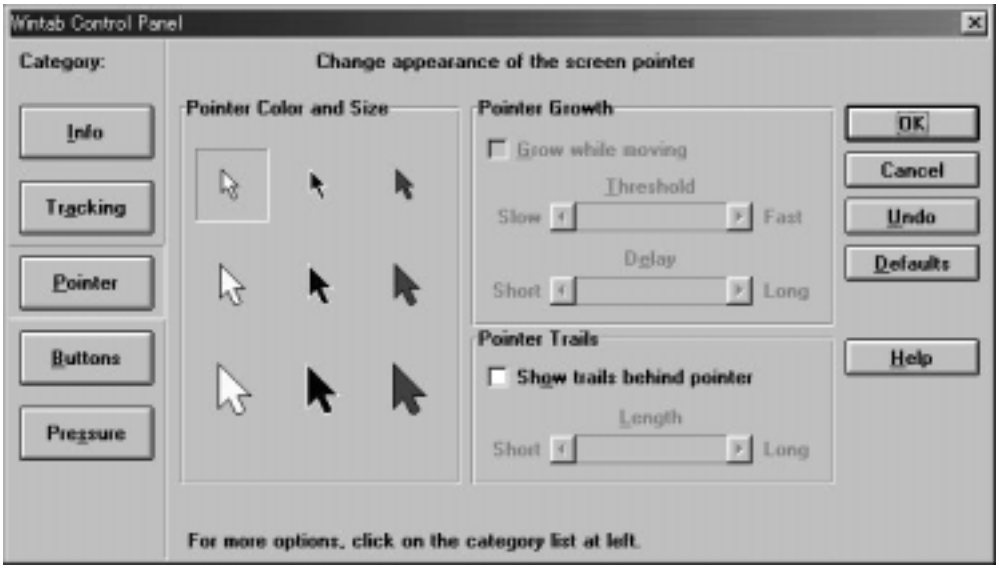


● トラッキングモード（Tracking Mode）…絶対モードと相対モード（Absolute or Relative Mode）
絶対モード（Absolute）では、画面側とタブレット側の位置関係が完全一致します。トラッキングエリアは、ウィンドウに合わせて変更できます。また、絶対モード時にトラッキングエリアを縮小すると、マウスポインタの動きを素早くすることができます。
相対モード（Relative）では、タブレットを通常のマウスのように使用することができます。トラッキングスピードを変更する場合は、感度（Sensitivity）パラメータを調節してください。

● トラッキングエリア（Tracking Area）
タブレット上でスタイラスペンを動かしたときに、反応する範囲のことを指します。初期設定では、タブレットの透明シート部分全体（5"×3.75"）です。絶対モードでは、この範囲とウィンドウとの位置関係が完全一致します。
トラッキングエリアを小さくすると、マウスポインタの動きが機敏になり、作業時間を短縮することができます。この場合、ペンは新しいトラッキングエリア内で反応します。新しいトラッキングエリアを指定するには、

1. Whole Tabletのチェックを外します。
2. ダイアログボックス右下にあるグレーの長方形が、設定エリアです。まず、新しいトラッキングエリアの左下にあたる部分をクリックしてください。
3. 次に、右上にあたる部分をクリックしてください。これで範囲が指定されました。または、幅（Width）・高さ（Height）・余白（Margin）などの数値ボックスに数値を入力して範囲指定することも可能です。
4. トレースや細かな作図を行うときなどに、新しいトラッキングエリアの縦横比を保ちたい場合は、比率保存（Preserve Aspect）にチェックを入れます。

Pointer マウスポインタの形状を変更することができます。



● 標準のマウスポインタは、小さな白い矢印ですが、アプリケーションや画面の状態によっては、変更した方がわかりやすい場合があります。
高解像度の画面では大きいサイズのポインタが、暗い画面などでは輝度が高い明るいポインタが、それぞれ見つけやすいものになります。

各カテゴリの設定・キャンセルなどについて

「Wintab Control Panel」ダイアログボックスでの設定は、画面右にあるボタンで決定・キャンセル・Undo（元に戻す）などを実行します。

OK	変更を確認し、ダイアログボックスを閉じます。
Cancel（キャンセル）	変更を無視し、ダイアログボックスを閉じます。
Undo（元に戻す）	カーソルタイプ（Cursor Type）を除き、ダイアログボックスの現在のカテゴリで変更した部分を元に戻します。
Defaults（初期値）	全てのカテゴリ、または現在のカテゴリのオプションを、工場出荷時の初期設定値に戻します。
Help（ヘルプ）	ヘルプファイルを開きます。

筆圧の設定

WindowsNT4.0では、プログラムメニューにあるACECADフォルダからTip Feelを選択してください（Windows NT3.xでは、ACECADウィンドウからTip Feelアイコンをダブルクリックしてください）。Tip Feelのダイアログボックスが表示されます。

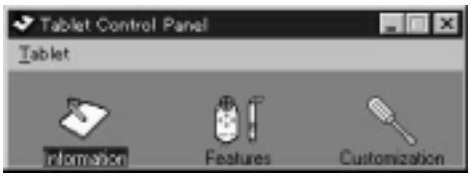
● クリック反応臨界点（Click Threshold）
どのぐらいの筆圧でクリックとして認識させるか、という臨界点を設定します。ソフト（Soft）にスライドさせると、軽い筆圧で反応します。反応が敏感すぎる場合、ハード（Hard）側にスライドさせてみてください。

● 筆圧感度（Pressure Response）
描画中の筆圧感度を設定します。線幅や塗りの透明度などを左右する部分です。筆圧に敏感な描画をする場合、ヘビー（Heavy）側にスライドさせてください。太い線や、濃い色を描くことができます。

● 「CLICK TEST」や「Pressure Test」エリアで、設定結果を確認することができます。

● 簡単な図を描く際には、筆圧感度（Pressure Responce）を高くしてお使いください。ただし、アプリケーションの中には、ソフトクリックではペンの反応が敏感すぎることがあります。その場合、クリック反応臨界点（Click Threshold）をハード（Hard）にしてみてください。

その他の設定

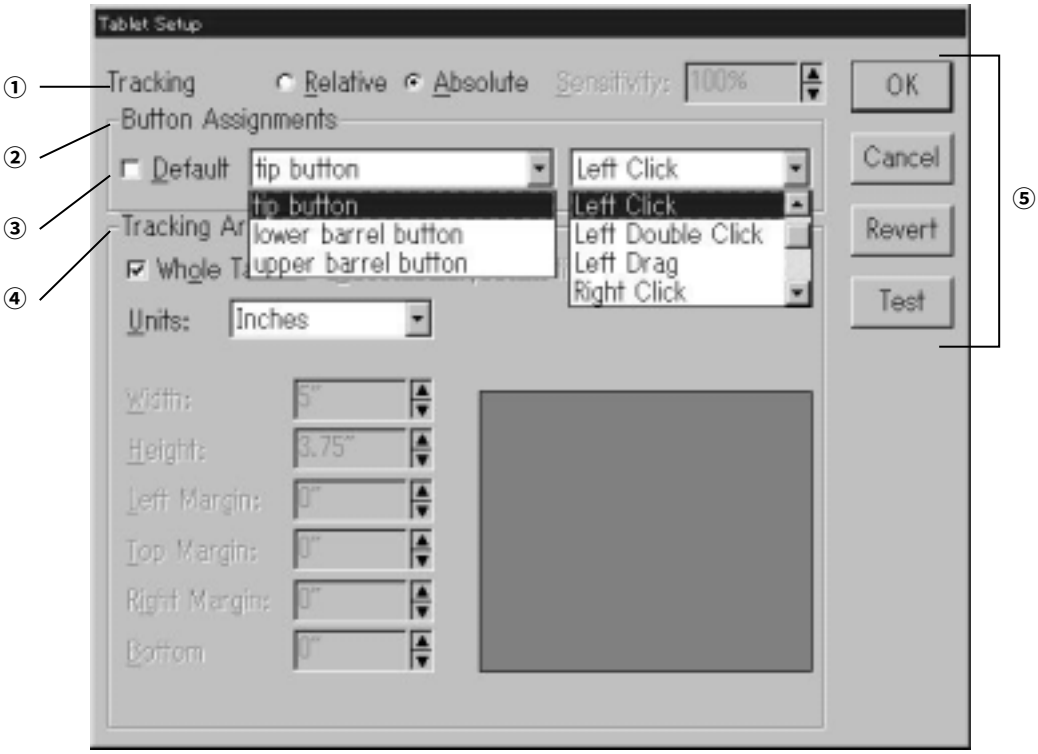


Windows NT4.0では、プログラムメニューのACECADフォルダからACE CAD Tabletを選択してください（Windows NT 3.xでは、ACECADウィンドウからACECAD Tabletアイコンをダブルクリックしてください）。
Tablet Control Panelのダイアログボックスが表示されます。

● Information
Tablet Control Panel内での表示単位（センチメートル、インチ）を切り換えることができます。

● Features
「3 button stylus」を選択してください。これ以外では、正常に動作しませ

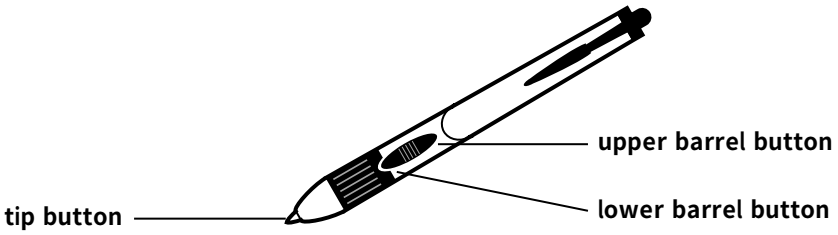
● 環境設定（Customization）
Tablet Setupダイアログボックスが開きます。



① トラッキングモード（Tracking Mode）…絶対モードと相対モード（Absolute or Relative Mode）
絶対モード（Absolute）では、画面側とタブレット側の位置関係が完全一致します。トラッキングエリアは、ウィンドウに合わせて変更できます。また、絶対モード時にトラッキングエリアを縮小すると、マウスポインタの動きを素早くすることができます。
相対モード（Relative）では、タブレットを通常のマウスのように使用することができます。トラッキングスピードを変更する場合は、感度（Sensitivity）パラメータを調節してください。

② ボタン機能（Button Assignments）
スタイラスペンにある各ボタンの動作設定は以下のようになっています（初期設定値）。

tip button（ペン先）	Left Click（マウスの左クリック）
lower barrel button（下部丸ボタン）	Right Click（マウスの右クリック）
upper barrel button（上部丸ボタン）	Left Double Click（マウスの左ダブルクリック）



ボタン機能を変更するには、まず「Default」のチェックボックス③をクリックして、チェックマークを外します。次に、ドロップダウンリストから、ボタンとそれに対応する動作をそれぞれ設定してください。

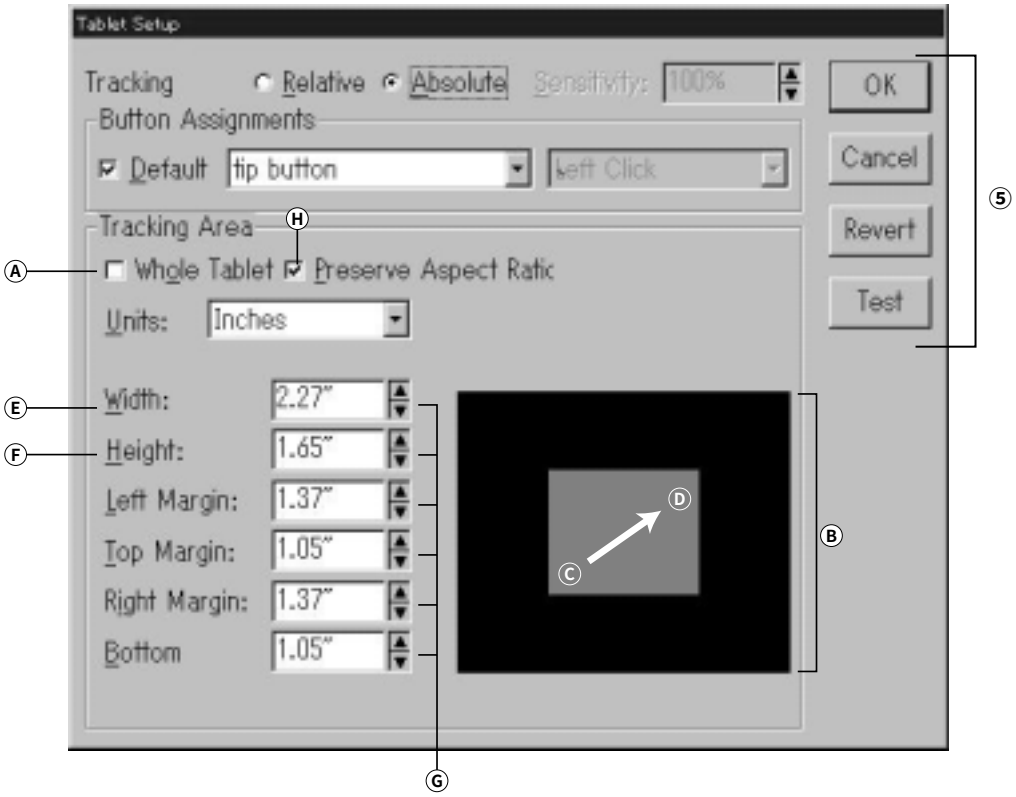
④ トラッキングエリア（Tracking Area）

タブレット上でスタイラスペンを動かしたときに、反応する範囲のことを指します。初期設定では、タブレットの透明シート部分全体（5"×3.75"）です。絶対モードでは、この範囲とウィンドウとの位置関係が完全一致します。

トラッキングエリアを小さくすると、マウスポインタの動きが機敏になり、作業時間を短縮することができます。この場合、ペンは新しいトラッキングエリア内で反応します。

新しいトラッキングエリアを指定するには、

1. Whole TabletⒶのチェックを外します。
2. ダイアログボックス右下にあるグレーの長方形Ⓑが、設定エリアです。このエリアの中をクリックしてください。マウスポインタが「＋」に変わります。
3. まず、クリックで左下の位置を決定しⒸ、次に、右上位置をクリックしてくださいⒹ。これで範囲が指定されました。または、幅（Width）Ⓔ・高さ（Height）Ⓕ・余白（Margin）などの数値を変更して範囲指定することも可能です。
4. トレースや細かな作図を行うときなどに、新しいトラッキングエリアの縦横比を保ちたい場合は、比率保存（Preserve Aspect）Ⓗ にチェックを入れます。



⑤ コマンドボタン

OK	変更を確認し、ダイアログボックスを閉じます。
Cancel（キャンセル）	変更を無視し、ダイアログボックスを閉じます。
Revert（復帰）	変更を全て取り消しますが、ダイアログボックスは開いたままです。
Test（テスト）	変更した設定をテストしてみます。

ドライバソフトの削除

1. 付属のCD-ROMをCDドライブにセットしてください。

2. 【Windows 95/98/NT4.0の場合】スタートメニューを開いてください。
   【Windows 3.x/NT3.xの場合】プログラムマネージャウィンドウで「ファイル」メニューを開いてください。

3. 「ファイル名を指定して実行」を選択します。
   「R:\WTREMOVE.EXE（RがCD-ROMドライブの場合）」と入力し[OK]をクリックしてください。

4. 画面の指示に従って「ACECAD Tablet」を削除（Remove）してください。

5. Windowsを再起動させると、タブレットが使用できなくなっています。

ペンのメンテナンス

- ペン先が押された状態で放置すると、バッテリーが消耗し続けてしまいます。ペンを保管するときは、付属のペンホルダーに取り付けるか、タブレット上に寝かせておいてください。

- ペンの電源が入らない場合は、内蔵バッテリーが切れている可能性があります。交換してください（1.5V、AAAAタイプ乾電池）。

- 長期間使用していると、ペン先が摩耗する可能性があります。ペン先の交換は、ピンセットなどを用い、ゆっくりとおこなってください。

付属ソフトウェアについて

本製品に付属のソフトウェア「Ulead MediaStudio Pro 5VP Video Paint（英語版）」（以下、Video Point）は、日本語Windows 95/98/NT4.0では動作確認を行っています。「Video Paint」は付属品のため、不良品に対する交換以外のサポートは一切行いません。
Video Paintのペイントツールには数種類のブラシがあり、それぞれのブラシの筆圧を設定することによって自然な書きごこちを簡単に体験することができます。

● Video Paintの動作環境
OS：Windows 95/98/NT4.0
CPU：Pentiumまたは相当品
メモリ：16MB以上

● Video Paintのインストール

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
2. スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
3. ファイル名「R:\VPAINT\VPSETUP.EXE（RがCD-ROMドライブの場合）」と入力し、[OK」をクリックしてください。
4. 画面の指示に従って、Video Paintをインストールします。
5. Video Paintを起動するには、スタートメニューの「プログラム」にある「Ulead MediaStudio Pro 5VP」の中から「Video Paint」を選択します。（インストール時、異なるフォルダを指定しなかった場合。）

注意： Video Paintのインストールが終わると、「Microsoft Active Movie Ver. 4.70」と「16bit QuickTime for Windows Ver. 2.1」を続けてインストールするかという旨の表示が現れますが、[Cancel]をクリックし、インストールを終了してください。※これらはどちらも英語版のため、不具合が生じる可能性があります。
「QuickTime for Windows」の最新版は、アップルコンピュータ（http://www.apple.co.jp）のウェブサイトからダウンロードすることが可能です。
また、「Active Movie」は「Internet Explorer」に標準で含まれていますので、これらのソフトを入手してご使用ください。

Video Paintの使用方法については、付属CD-ROMに収録されている英文マニュアルをご参照ください。マニュアルはPDF形式で、同CD-ROMの「VPAINT」フォルダ内にある「Manual」フォルダに格納されています。ファイル名は「MS5PAINT.PDF」です。
※PDF形式の書類を開くことができない場合、同じ「Manual」フォルダ内に「Adobe Acrobat Reader」のインストーラがありますので、このアイコンをダブルクリックしてインストールを行ってください。画面の指示に従ってインストールを終了させてから、「MS5PAINT.PDF」を開き、マニュアルをお読みください。

トラブルシューティング

タブレットのセットアップについて、もし何か問題が起きましたら、下記の内容をお読みください。

Q. インストールが終わり、再起動してもタブレットが動作しない。

A. 以下の内容を確認してください。
①コネクタが全部きちんと接続されているか
②RS-232Cケーブルがコンピュータの正しいポートに接続されているか
③シリアルポートの設定が正しいか（COM1、COM2設定が正しいか）
④タブレットと別のデバイスのIRQ設定が同じになっていないか
⑤スタイラスペンに電池が正しくセットされているか

Q. タブレットとマウスの両方をインストールした。マウスを使いたいとき、または外したいとき、タブレットが使用不可能になる。

A. 再度タブレットのインストールを行ってください。

Q. 時折、カーソルがスタイラスペンの動きに合わなくなる。

A. 使用範囲がアクティブエリア（読取可能範囲）全体に設定されているかどうか確認してください。使用範囲は、タブレットコントロールパネルで設定します。

Q. ダブルクリックが正確に行えない。

A. コントロールパネルの「マウス」を開き、マウスのプロパティでダブルクリックスピードの設定を変えてみてください。

Q. システムポインタの感度が、Windows上で正しく設定されていない。

A. 絶対モードの場合、使用範囲を変えることで感度の調節をしてください。相対モードの場合は、感度の設定を変えてください。この設定は、どちらの場合もコントロールパネルで変更できます。

Q. スタイラスペンで、使えないボタンがいくつかある。

A. ATABLETマウスドライバに読み込んだボタン設定が適切かどうか確認してください。また、アプリケーションセットアッププログラムのマウスデバイスと、ドライバのマウスモードのマウスデバイスが同じものを選択しているかどうか確認してください。

仕　　様

●読み取り可能範囲　：　127×95（5"×3.75"）
●本体サイズ　：　W200×D195×H6mm（突起部は除く）
●重量　：　約500g
●解像度　：　2540ライン/インチ
●読み取り精度　：　±0.254mm
●読み取り速度（最大）：　128P/秒
●筆圧レベル　：　512
●読み取り可能高　：　6mm
●インターフェイス　：　RS-232C（D-sub9pinシリアルポート）
●対応OS　：　Windows 95/98/NT 4.0/NT 3.x、Windows 3.x
●電源　：　キーボードコネクタより供給（アダプタ付）
●入力電圧　：　DC 5V
●消費電流　：　120mA
●動作温度　：　5℃～50℃
●保管温度　：　-10℃～50℃
●湿度条件　：　20%～95%（結露無きこと）